

問10. 夜警の所要時間

1. 質問項目を設けた経緯: 夜警の時間は2時間かからない地区もある

ヒアリング調査の中で「夜警の巡回時間が実情と乖離している」との懸念事項があった。「2時間を1単位として夜警が実施されている」「車などを活用するようになり、夜警への所要時間が減少している」という実態があることがわかった。

2. アンケート調査項目: 夜警の所要時間

●活動に関する質問。(数値は「はい」と回答のあった数) N(総数)=3,452

問10. 夜警の巡回で、管轄範囲を1周する場合の時間を教えてください。(1つだけ選択)

・30分以内 1,701 ・1時間程度 1,132 ・1時間30分程度 100 ・2時間 67 ・2時間以上 3

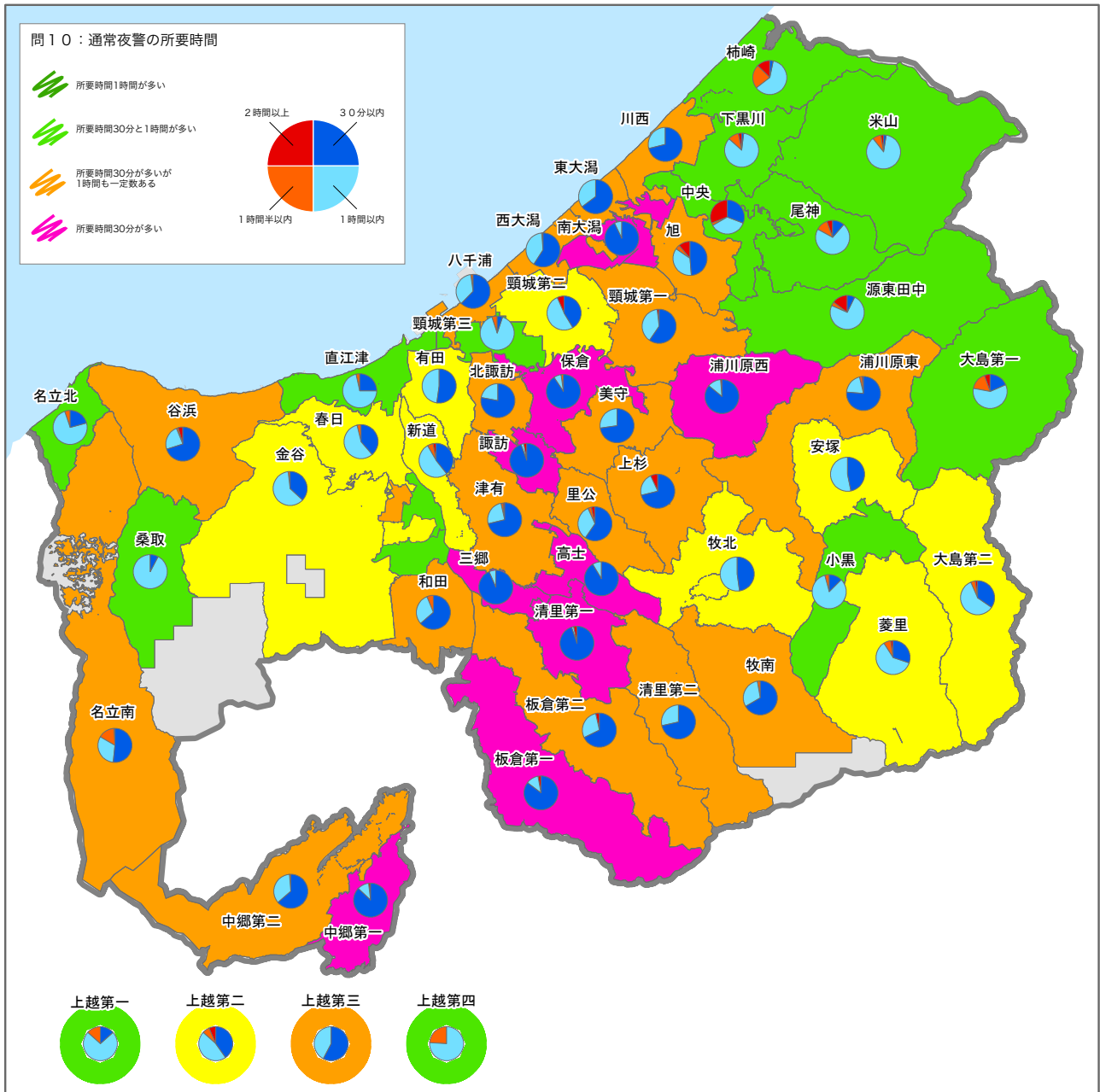
※不明・無回答 449

3. 調査結果(円グラフ・全体): 所要時間は30分~1時間が多かった

夜警の所要時間として最も多かったのは「所要時間30分」の21%、次いで「所要時間1時間」の33%、「所要時間1時間半」の3%であった。所要時間が、夜警の1単位である2時間を超えたのは「所要時間2時間以上」の2%のみであった。

4. 調査結果(円グラフ・分団別): 分団によって所要時間にバラツキがある

全分団の中で「所要時間30分」の割合が多かったのは、上越諏訪分団の94.7%、清里第一分団の94.7%、上越三郷分団の93.5%であった。「所要時間1時間」の割合が多かったのは、上越桑取分団92.3%、頸城第三分団の89.4%、柿崎米山分団の86.8%であった。「所要時間1時間半」の割合が多かったのは、上越第四は24.0%、柿崎22.6%であった。「所要時間2時間」の割合が多かったのは、幹部の33.3%、吉川中央分団の30.8%であった。



5. 55分団の傾向（不明・無回答は除く）：4つの傾向に分類できる

1) 「所要時間30分が多い地域」 9分団

(清里第一、南大湊、上越諏訪、中郷第一、板倉第一、浦川原西、上越高士、上越保倉、上越三郷)

2) 「所要時間30分が多いものの、所要時間1時間も一定数ある地域」 20分団

(西大湊、吉川旭、上越谷浜、上越北諏訪、上越津有、牧南、中郷第二、柿崎川西、浦川原東、三和里公、清里第二、東大湊、板倉第二、上越和田、頸城第一、名立南、上越八千浦、三和上杉、上越第三、三和美守)

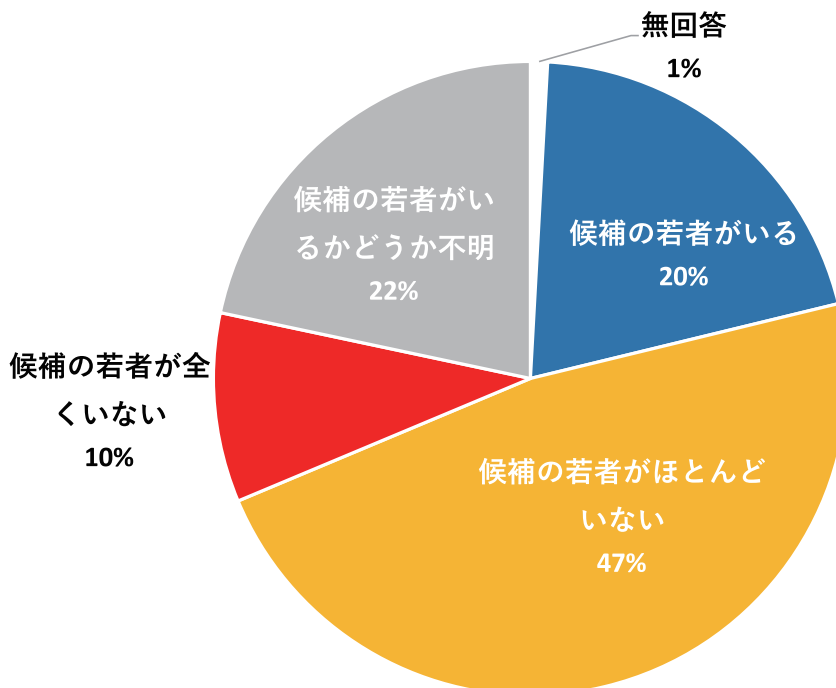
3) 「所要時間30分と1時間が同数ある地域」 10分団

(安塚菱里、上越有田、大島第二、安塚、頸城第二、牧北、上越金谷、上越新道、上越春日、上越第二)

4) 「所要時間1時間が多い地域」 18分団

(ラッパ隊、吉川中央、幹部、名立北、柿崎、吉川尾神、吉川源東田中、安塚黒小、上越第一、柿崎下黒川、大島第一、上越桑取、上越第四、上越直江津、柿崎米山、頸城第三、事務所、女性団員)

※ 女性団員およびラッパ隊は通常夜警は所掌業務でないため、参加はなく、上記の分類から外している。



問11. 管轄内の団員確保

1. 質問項目を設けた経緯: 団員確保には非常な困難が伴う

ヒアリング調査の中で「団員確保が非常に困難である」との懸念が強く示された。「団員候補が所管地域内にいない」「いるかいないかわからない」という実態があることがわかった。

2. アンケート調査項目: 管轄内の団員確保

●団員確保に関する質問.

問11. あなたの分団の管轄内で、団員候補となる若者は存在しますか。(1つだけ選択)

- ・団員候補となる若者が存在する 702
- ・団員候補となる若者がほとんど存在しない 1,639
- ・団員候補となる若者が全く存在しない(ゼロである) 333
- ・団員候補となる若者がいるかどうかわからない 748

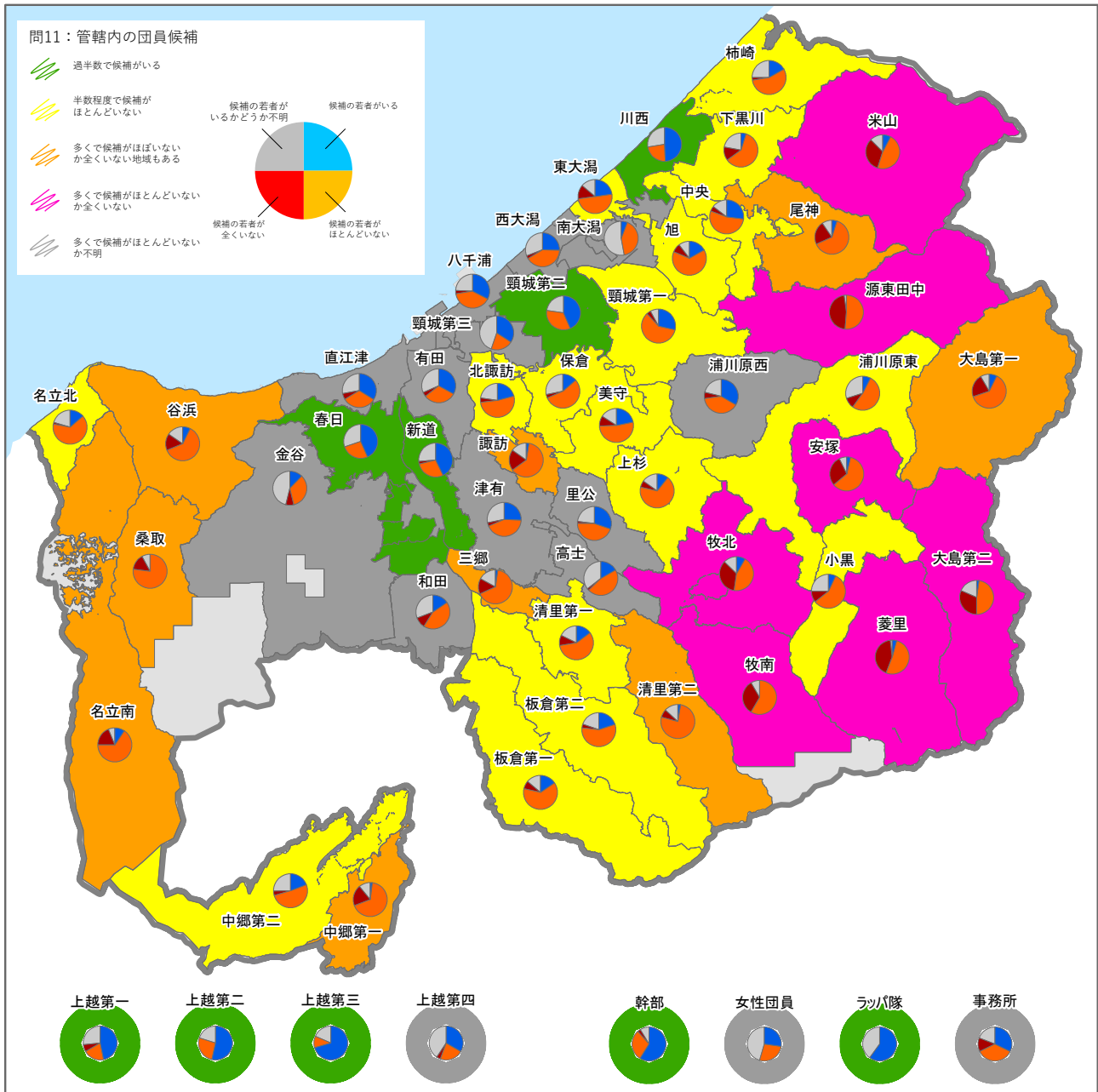
※不明・無回答 30

3. 調査結果(円グラフ・全体): 団員候補の若者がいない、わからない合わせて69%

団員確保にあたって、「候補の若者がほとんどいない」の47%、次いで「候補の若者が待ったくない」の10%、「候補の若者がいるかどうかわからない」の22%との回答があった。「候補の若者が存在する」は20%であった。候補の若者がいない、わからない合わせて69%にも上っており、消防団員候補の獲得が難しいことが改めて明らかになった。

4. 調査結果(円グラフ・分団別): 分団によって団員候補の認識度にはバラツキがある

全分団の中で「団員候補となる若者が存在する」と回答した割合が多かったのは、上越第三分団の70.3%、幹部の58.8%、ラッパ隊の60.0%であった。「団員候補となる若者がほとんど存在しない」上越桑取分団は76.9%、清里第二分団は76.3%、三和上杉分団は68.1%、中郷第一分団は67.2%であった。「団員候補となる若者が全く存在しない(ゼロである)」の割合が多かったのは、吉川源東田中分団の46.6%、安塚菱里分団の42.0%、牧北分団の35.4%であった。「団員候補となる若者がいるかどうかわからない」の割合が多かったのは、南大瀧分団の52.9%、上越金谷分団の46.2%、女性団員の45.4%であった。



5. 57分団の傾向（不明・無回答は除く）：5つの傾向に分類できる

- 1) 「多くで候補の若者がほとんどいない・全くいない地域」 7分団
 (安塚菱里、大島第二、安塚、牧北、吉川源東田中、柿崎米山、牧南)
 候補の若者がほとんどいない割合が5割を占める上に、全くいない割合が3割を占めている。
- 2) 「多くで候補の若者がほとんどいない、一定数の全くいないもある地域」 9分団
 (吉川尾神、大島第一、上越桑取、上越諏訪、中郷第一、上越三郷、上越谷浜、清里第二、名立南)
 候補の若者がほとんどいない割合が6割を占める。全くいないも1割程度を占めている。
- 3) 「半数程度で候補の若者がほとんどいない地域」 17分団
 (吉川中央、名立北、柿崎、安塚小黒、柿崎下黒川、清里第一、板倉第一、上越保倉、吉川旭、上越北諏訪、中郷第二、浦川原東、東大湯、板倉第二、頸城第一、三和上杉、三和美守)
 候補の若者がほとんどいない割合が5割を占める。候補の若者がいる割合も1割弱～3割を占める一方で、不明である割合も1～3割を占めている。
- 4) 「過半数で候補の若者がいる地域」 9分団
 (ラッパ隊、幹部、頸城第二、上越新道、上越春日、上越第二、上越第一、柿崎川西、上越第三)
 候補の若者がいる割合が6割強を占める。ほとんどいない・いるか不明も一定割合を占めている。
- 5) 「多くで候補の若者がほとんどいない・いるか不明の地域」 15分団
 (上越有田、上越金谷、上越第四、上越直江津、頸城第三、事務所、女性団員、南大湯、浦川原西、上越高士、西大湯、上越津有、三和里公、上越和田、上越八千浦)
 候補の若者がほとんどいない割合が4割を占める一方で、候補の若者がいるか不明である割合が3～4割を占めている。